

救急章報告書

(2009年発行、「救急法」野外活動における応急手当 による)

日本ボーイスカウト静岡県連盟

第

団

隊

氏名 _____

(1) ボーイスカウト救急法講習会を修了する。

<ボーイスカウト救急法講習会修了証のコピーを貼付>

尚：日本赤十字社救急法講習、救急員養成講習および消防署普通救命講習、上級救命講習では、ボーイスカウト救急法講習会の一部細目を履修することができる。これらの修了証のコピーを添付し、これらの講習会で履修できなかった細目については、別途
考査を受け、合格すること。

ボーイスカウト救急法講習会細目

次の講習会の場合、○は細目の全てを履修したものとし、数字で示すものは該当番号の細目のみを履修と見なす。履修できなかった項目については別途考査をうけ、右の欄に認定をもらう。

	日本赤十字社		消防署		考査員の認定 日付 ・サイン
	救急 法 講習	救急 員 養成 講習	普通 救命 講習	上級 救命 講習	
<p>1. 救急法の基本</p> <p>次のことについて説明できる。</p> <p>(1)ボーイスカウト救急法の意義</p> <p>(2)傷病者の観察 (3)応急手当ての流れ</p>	(2) (3)	(2) (3)	(2) (3)	(2) (3)	
<p>2. 心肺蘇生法</p> <p>(1)心肺蘇生法の手順を説明できる。</p> <p>(2)気道内異物除去の意義を説明し、正しく実演できる。</p> <p>(3)気道確保の意義を説明し、正しく実演できる。</p> <p>(4)人工呼吸法の意義を説明し、マウス・ツー・マウスによる呼気吹き込み法を正しく実演できる。</p> <p>(5)胸骨圧迫（心臓マッサージ）の意義を説明し、正しく実演できる。</p>	○	○	○	○	
<p>3. AED（自動体外式除細動器）</p> <p>(1)AEDの適応を理解し説明できる。</p> <p>(2)AED使用の手順を説明できる。</p> <p>(3)AEDが作動しない心臓の状態と、そのような状態の時には何をしなければいけないかを説明できる。</p>	(1) (2)	(1) (2)	(1) (2)	(1) (2)	
<p>4. 止血法</p> <p>以下の止血法の説明ができ、出血の状態に適した止血法がそれぞれ実演できる。</p> <p>(1)直接圧迫止血法、(2)止血帯止血法</p>	—	(1)	—	○	
<p>5. ショック</p> <p>ショック状態の徴候と、予防のための手当てを説明できる。</p>	—	○	—	—	
<p>6. 食中毒</p> <p>食中毒について説明し、その予防と手当ての方法を説明できる。</p>	—	—	—	—	
<p>7. 一酸化炭素中毒</p> <p>一酸化炭素中毒を説明し、その予防と回避する方法を実演できる。</p>	—	○	—	—	

8. 熱中症 熱中症の種類とその予防，応急手当てを説明し，実演できる。	—	—	—	—	
9. 頭部外傷 頭部打撲時の症状と注意事項を説明できる。	—	○	—	—	
10. 骨折，捻挫 次の部位の骨折，捻挫，打撲に対し身近な道具を用い，創意と工夫で正しい応急手当てができる。 (1)鎖骨 (2)上腕 (3)前腕 (4)大腿骨 (5)下腿 (6)人指し指 (7)手首・足首の捻挫 (8)四肢の打撲	—	○	—	○	
11. きず等 (1)きずの種類と応急手当てについての一般的注意事項を説明できる。 (2)日常遭遇しやすい次のような場合の応急手当てができる。 ア 鼻血 イ 目のちり ウ やけど エ 指の切りきず オ 立ちくらみ カ 腹痛	—	(2) ア～オ	—	(2) ウ	
12. 動・植物による被害 以下の生物による被害の予防と応急手当てを説明できる。 (1)スズメバチ刺傷 (2)毒ヘビ咬傷 (3)イヌ咬傷 (4)ムカデ咬傷 (5)ウルシ接触性皮膚炎	—	(2) (3) (5)	—	—	
13. 搬送法 傷病者を搬送する方法を一人法で3通り，二人法で2通り，三人法で1通りが実演できる。また，急造担架を作り，担架で運ぶ時の注意を説明し，その担架で実際に運ぶことができる。	—	○	—	○	
13. 救急要請 電話で救急車を要請する時の必要事項を説明し，通報を実演する。	○	○	○	○	

(3) 県連盟，地区単位で設置される救護所の奉仕や隊活動，キャンプでの救護係を通算 5 日以上担当し，その報告書を提出する。

期間	日数	名称・場所	参加人数	応急手当の実践内容
～ 年 月 日 年 月 日				
～ 年 月 日 年 月 日				
～ 年 月 日 年 月 日				
～ 年 月 日 年 月 日				
～ 年 月 日 年 月 日				

上記の通り担当したことを証明する 隊長サイン

上記 応急手当機会がなかった場合、

日常生活で遭遇した、傷病について、行った手当てなどの経過をまとめる

考查時 参考レポート

1 - (1) : ボーイスカウト救急法の意義を述べよ (P2~5)

3 - (3) : AEDが作動しない心臓の状態と、そのような状態の時には何をしなければいけないかを述べよ (P41)

4 : 以下の止血法を述べよ

(1) 直接圧迫止血法 (2) 止血帯止血法 (P80~83)

5 : ショック状態の徴候と、予防のための手当てを述べよ (P54)



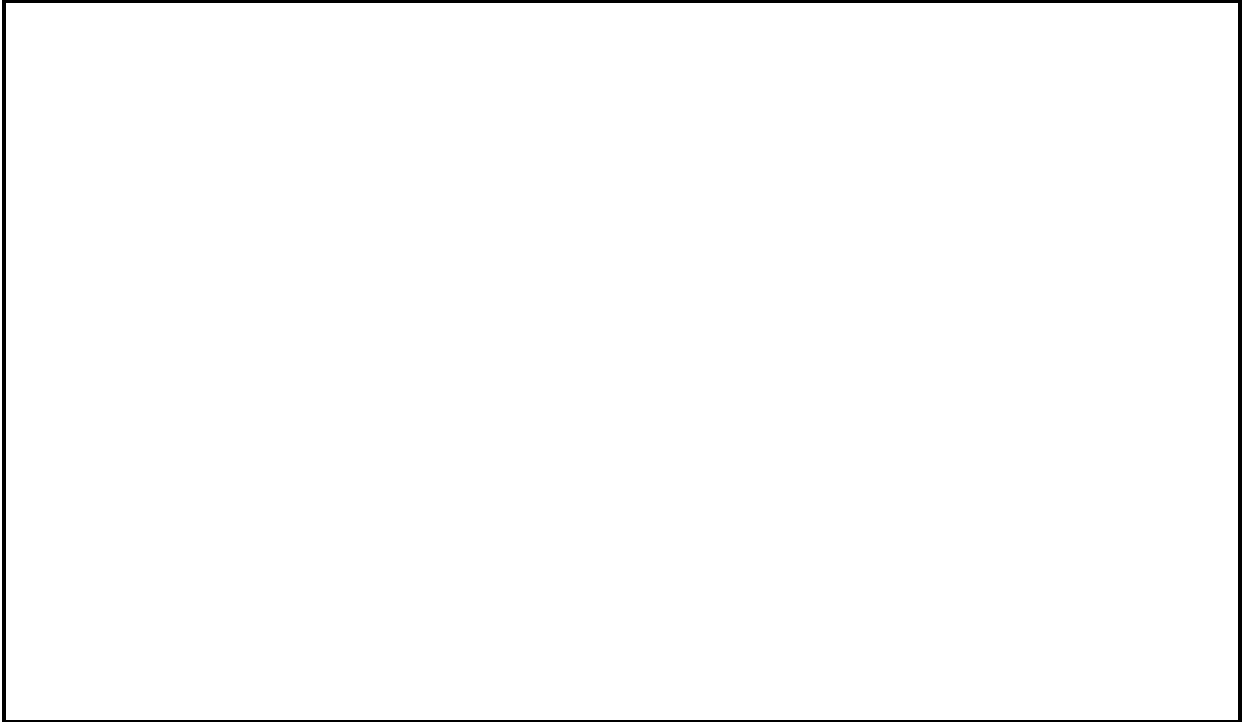
6 : 食中毒について説明し、その予防と手当ての方法を述べよ (P160~P168)



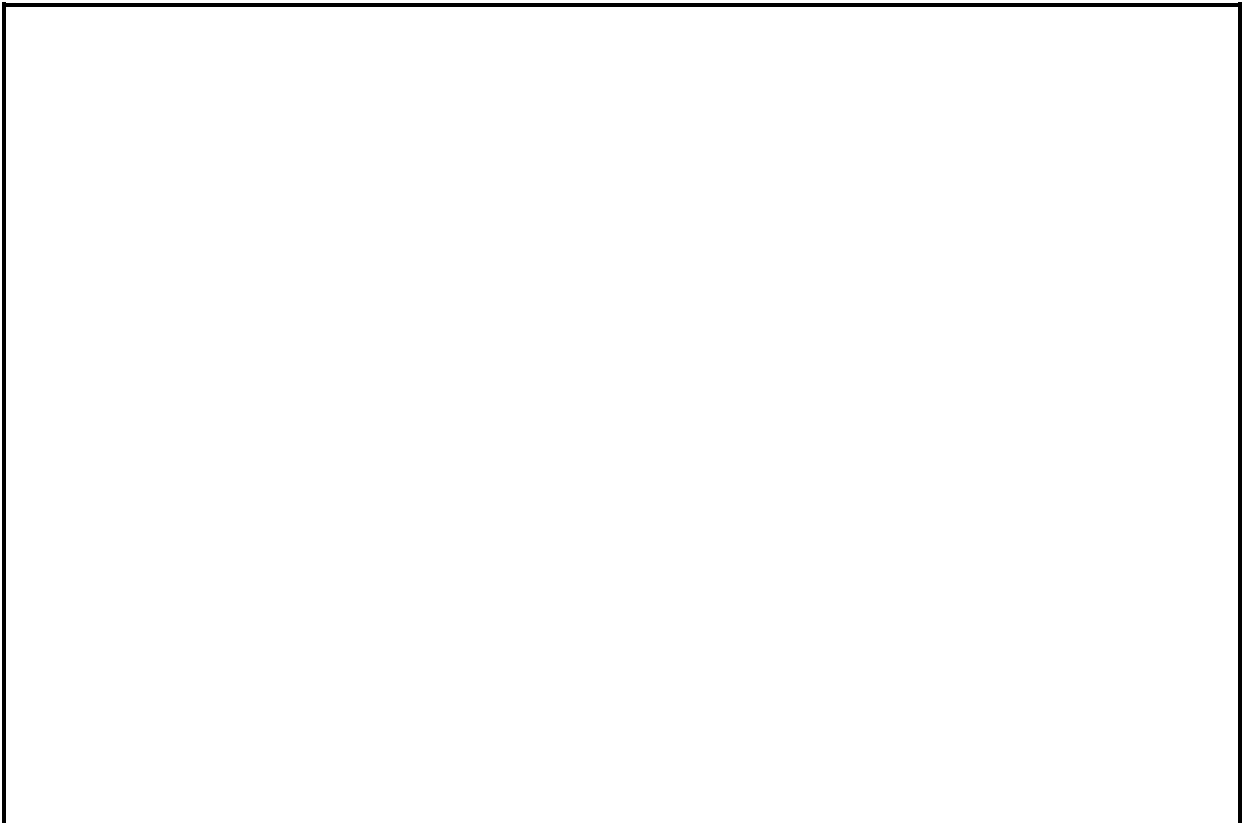
7 : 一酸化炭素中毒を説明し、その予防と回避する方法を述べよ。(P206~208)



8 : 熱中症の種類とその予防、応急手当を説明し、実演せよ (P58~66)



9 : 頭部打撲時の症状と注意事項を述べよ。(P105)



10 次の部位の骨折、捻挫、打撲に対し応急手当を行うこと（参考 P98～P104）

症状	ポイント	考査員実技 確認
(1) 鎖骨		
(2) 上腕		
(3) 前腕		
(4) 大腿骨		
(5) 下腿		
(6) 人指し指		
(7) 手首・足首の捻挫		
(8) 四肢の打撲		

11 (1)：きずの種類と応急手当に付き一般的注意事項を述べよ（P86～89）

1 1 (2) : 日常遭遇しやすい次のような場合の応急手当を述べよ

症状	応急手当	参考
鼻血		(P109)
目のちり		(P107, 108)
やけど		(P154~158)
指の切りきず		(P93)
立ちくらみ		(P202~203)
腹痛		(P180~1)

1 2 以下の生物による被害の予防と応急手当てを説明せよ

症状	予防と応急手当て	参考
スズメバチに刺された		(P143 ~ 146)
毒ヘビに咬まれた		(P139 ~ 143)
イヌに咬まれた		(P134 ~ 135)
ムカデに咬まれた		(P147)
ウルシにかぶられた		(P147, 148)

13 (1) 傷病者を搬送する方法を一人法で3通り、二人法で2通り、三人法で1通り図示せよ (参考 P210~213)

搬送法	図
一人法	
2人法	
3人法	